

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6 年 2 月 22 日

事業所名 レインボー・キッズ・クラブ

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	6		活動内容により部屋を分け過ごしています。	利用人数や活動内容により、より良いスペースの使い方ができるよう今後も創意工夫していきます。
	2 職員の配置数は適切である	6		適切に職員を配置しております。	子ども達の状況に応じて引き続き適切な職員配置をおこなっていきます。
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	6		室内は子ども達が理解しやすい用、視覚支援をおこなっています。また必要に応じてパーテーションを使用し環境調整をしています。	今後も子ども達が理解しやすいよう視覚支援をおこなっていきます。
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	6		毎日のミーティング・毎月の会議で話し合い、意見交換しています。	今後も継続し業務改善に努めます。
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6		事業所評価、当事業所独自のアンケートを作成し保護者様の意向を把握できるようにしています。	事業所評価、アンケート結果を真摯に受け止め保護者様の意向を把握したうえで業務改善に努めてまいります。
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6		ホームページで公開しています。	ホームページに結果を公表します。
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		6	現時点では行っておりません。	現在は取り入れておりませんが、今後の課題として検討させていただきます。
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6		全ての職員が随時様々な研修に参加しています。	今後も様々な研修に参加し職員の資質向上に努めてまいります。
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	6		職員間で普段の様子を共有し懇談等で保護者様から聞き取りをおこないニーズや課題等を分析したうえで作成しています。	今後も継続しておこなっていきます。
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	6		標準化した独自の物を使用しています。	今後も継続しておこなっていきます。
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	6		各活動を委員会と称して職員を割り当て行っています。	今後も継続しておこなっていきます。
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6		固定化しないように、ランダムに活動予定を入れ内容も変更し作成しています。	今後も固定化しないように内容を変更していきます。
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	6		休日は平日行えないクッキング等の活動を入れる等、課題や活動内容を変更しています。	今後も継続しておこなっていきます。
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	6		一人一人に合わせた個別活動と集団活動を組合せ実施しています。	今後も継続しておこなっていきます。
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6		支援開始前に支援内容や役割分担を確認しています。	今後も継続しておこなっていきます。

	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	6		支援終了後に職員間で気づいた点について話し合い情報を共有しています。	勤務により支援終了後に行えない職員は翌日に振り返りを必ず行えるようしていきます。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6		支援経過に記録し次につなぐことができますよう取り組んでいます。	今後も支援経過に記録し、支援検証・改善に努めてまいります。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	6		事業所内会議で個々のケース会議をひらき、半年に一度のモニタリングを通し、計画書の見直しをおこなっています。	今後も継続しておこなっていきます。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	6		基本活動を複数組み合わせ行っています。	今後も継続しておこなっていきます。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6		児童発達支援管理責任者が参加しています。	今後も継続しておこなっていきます。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	6		行事予定や下校時刻等は毎月書面でもらっている学校もあります。連絡調整もその都度行っています。	今後も継続しておこなっていきます。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		6	該当者がいません。	今後、必要時は主治医との連携も図っていきます。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	6		必要時は連携を図り、情報共有をおこなっていきます。	今後も必要時には情報共有や相互理解に努めてまいります。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	6		必要時は連携を図り、情報共有をおこなっていきます。	今後も必要時は連携を図っていきたく思います。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	6		必要機関と連携をおこなっています。	今後も、研修等に参加し、情報交換に努めます。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		6	現時点では実施していません。	保護者様の希望に沿う形で検討していきます。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している		6	現時点では参加していません。	今後、機会があれば参加していきたいです。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6		送迎時や連絡ノートを用いて保護者様とコミュニケーションを図っています。	今後も保護者様とコミュニケーションを図り、共通理解をもって支援をしていきます。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている		6	ペアレントトレーニングを行っています。	今後の課題として検討していきます。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6		契約時に説明をおこなっています。	今後も契約時に説明を徹底します。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6		相談があった場合には、適切に対応しています。	今後も継続していきます。まだまだ不十分なことも多いため改善を図れるよう努めてまいります。

保護者への説明責任等	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	6		親子行事のスポーツ大会を開催し保護者同士の関りを持てるよう支援しました。	今後も保護者様の交流の場を検討していきます。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	6		苦情があった際、必要に応じ様々な機関と連絡をとり迅速かつ適切に対応しています。	今後も苦情があった際は必要に応じ他機関と連携をとり迅速かつ適切に対応できるよう努めてまいります。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6		毎月の新聞、Instagram、ホームページで活動の様子や行事予定を発信しています。	今後も新聞、Instagram、ホームページで発信していきます。
	35	個人情報に十分注意している	6		秘密厳守を徹底しています。	今後も個人情報の取り扱いについては、十分注意していきます。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6		保護者様に合わせた文字で連絡ノートを入力したり、保護者様に合わせ連絡方法で連絡する等配慮しています。	今後も連絡ノートや電話、line、直接お会いする等保護者様に合わせたコミュニケーションをおこなってまいります。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	6		年に2回地域の住民の方を招待したイベントを行っております。	今後も継続して地域の方との交流を図っていきます。
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	6		契約時にマニュアルの説明を行っています。	今後も職員・保護者様に周知をおこなってまいります。
非常時等の対応	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6		毎月1回、様々な災害を想定した避難訓練を行っています。	今後も継続して行っていきます。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6		虐待防止の研修に参加し、月に一度虐待防止のための振り返りをおこなっています。	今後も継続し、虐待防止に努めてまいります。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	6		現在、該当者はいませんが、身体拘束について研修を行い、職員に周知しています。	今後、必要時は保護者様と十分に話し合い、対応させていただきます。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	6		食物アレルギーのあるお子様には一覧表を作成し職員で共有し除去を徹底しています。	今後もアレルギーのお子様に対して除去と事故防止に努めてまいります。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6		各自ヒヤリハット表に記入し事業所内会議で話し合い情報共有しています。	今後も継続して行っていきます。